

## 1. 化学品及び会社情報

|                    |   |                                |  |
|--------------------|---|--------------------------------|--|
| 化学品の名称             | AQUATAC™ 6085   |                                |  |
| 供給者の会社名称, 住所及び電話番号 |   |                                |  |
| 会社名                | Kraton Chemical, LLC  |                                |  |
| 住所                 | P.O. 箱 550850<br>Jacksonville, FL 32255-0850 米国                     |                                |  |
| 電話番号               | 電話番号  | 904-928-8700                   |  |
|                    | Alternate Phone Number  | 800-526-5294                   |  |
|                    | ファックス番号   | 904-928-8780                   |  |
| 緊急連絡電話番号           | Emergency US  | ケムトレック (Chemtrec) 800-424-9300 |  |
| 製品コード              | 200000000522  |                                |  |
| 推奨用途及び使用上の制限       |   |                                |  |
| 推奨用途               | 産業用: 産業サイトにおける物質それ自体または調剤内に含まれる物質の使用。調剤の配合 [混合] および/または再包装 (合金を除く)。 |                                |  |
| 整理番号               | 8918  |                                |  |

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS 分類

GHS分類基準に該当しない。

### GHS ラベル要素

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 絵表示     | なし。               |
| 注意喚起語   | なし。               |
| 危険有害性情報 | 混合物は分類基準を満たしていない。 |

### 注意書き

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 安全対策 | 産業衛生に気を配る。               |
| 応急措置 | 取り扱った後、手を洗うこと。           |
| 保管   | 避けるべき物質の近くに保管しない。        |
| 廃棄   | 廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。 |

### GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

知見なし。

### その他の情報

なし。

### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

| 成分      | CAS番号 | 官報公示整理番号 |     | 含有量 (%)  |
|---------|-------|----------|-----|----------|
|         |       | 化審法      | 安衛法 |          |
| ロジンエステル | 非公開   |          |     | 50 - <60 |
| 水       |       |          |     | 40 - <50 |

## 4. 応急措置

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 吸入した場合                | 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合             | 石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。     |
| 眼に入った場合               | 水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。           |
| 飲み込んだ場合               | 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。               |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。                |
| 応急措置をする者の保護に必要な注意事項   | 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。     |
| 医師に対する特別な注意事項         | 症状にあった治療を施す。                             |

## 5. 火災時の措置

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 適切な消火剤                | 水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。                             |
| 使ってはならない消火剤           | 消火に棒状放水しないこと   |
| 火災時の特有の危険有害性          | 火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。本生成物は分解後、一酸化炭素、二酸化炭素及び / または低分子量の炭化水素を放出する。 |
| 特有の消火方法               | 適切な保護具を着用する。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。                                  |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。                                     |
| 一般的な火災の危険性            | 異常な火災や爆発の危険性は知られていない。  |
| 特定の消火方法               | 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。                                     |

## 6. 漏出時の措置

|                        |   |
|------------------------|---|
| 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 | 関係者以外の立ち入りを禁止する。  |
| 環境に対する注意事項             | 下水や水路、地面への排出を避ける。   |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材        | 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。<br><br>少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。<br><br>絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

|                   |   |
|-------------------|---|
| 取扱い               |   |
| 技術的対策（局所排気、全体換気等） | 特別な推奨はない。   |
| 安全取扱注意事項          | 産業衛生に気を配る。  |
| 接触回避              | 強酸化剤。   |
| 衛生対策              | 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。眼の洗浄用噴水と緊急用シャワーをお勧めします。 |
| 保管                |   |
| 安全な保管条件           | 大気温度及び大気圧で保管してください。物質を凍結させてはいけません。  |
| 安全な容器包装材料         | 元の容器に密閉して保管する。  |

## 8. ばく露防止及び保護措置

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 許容濃度等 | 標準監視手順に従ってください。        |
| 暴露限界値 | 含有成分に関して暴露限界は設定されていない。 |

|                   |   |
|-------------------|---|
| <b>設備対策</b>       | 適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせて。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。 |
| <b>保護具</b>        |   |
| <b>呼吸用保護具</b>     | 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。   |
| <b>手の保護具</b>      | 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。   |
| <b>眼, 顔面の保護具</b>  | サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。  |
| <b>皮膚及び身体の保護具</b> | 適切な保護衣を着用する。  |

## 9. 物理的及び化学的性質

|                              |                                      |
|------------------------------|--------------------------------------|
| <b>物理状態</b>                  | 液体。                                  |
| <b>形状</b>                    | 液体。                                  |
| <b>色</b>                     | 乳白色                                  |
| <b>臭い</b>                    | 軽度                                   |
| <b>融点/凝固点</b>                | 0 °C (32 °F) (水)                     |
| <b>沸点又は初留点及び沸点範囲</b>         | 99.97 °C (211.95 °F) 推定値             |
| <b>可燃性</b>                   | 該当しない。                               |
| <b>爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界</b>     |                                      |
| <b>爆発限界－下限(%)</b>            | データなし。                               |
| <b>爆発限界－上限(%)</b>            | データなし。                               |
| <b>引火点</b>                   | 100.0 °C (212.0 °F)                  |
| <b>自然発火点</b>                 | データなし。                               |
| <b>分解温度</b>                  | データなし。                               |
| <b>pH</b>                    | > 6 - < 8                            |
| <b>動粘性率</b>                  | データなし。                               |
| <b>溶解度</b>                   |                                      |
| <b>溶解度 (水)</b>               | Dilutable                            |
| <b>n-オクタノール/水分係数 (log 値)</b> | データなし。                               |
| <b>蒸気圧</b>                   | 18 mm Hg で 20°C(水 )                  |
| <b>密度及び/又は相対密度</b>           |                                      |
| <b>密度</b>                    | >1000.00 kg/m <sup>3</sup> at 20°C   |
| <b>相対密度</b>                  | >1 で 25°C/25°C(water=1)              |
| <b>相対ガス密度</b>                | 0.6 (空気 = 1) (水 )                    |
| <b>粒子特性</b>                  | データなし。                               |
| <b>その他の情報</b>                |                                      |
| <b>化学族</b>                   | 樹脂分散                                 |
| <b>蒸発速度</b>                  | 0.3 (n-BuAc=1) (水 )                  |
| <b>爆発性状</b>                  | 爆発物でない。                              |
| <b>揮発物濃度</b>                 | <0.5 % Modified EPA Method 24        |
| <b>粘度 (粘性率)</b>              | > 3000 - < 8000 cP ブルックフィールド at 25°C |
| <b>加重固体</b>                  | 60 %                                 |

## 10. 安定性及び反応性

|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| <b>反応性</b>    | 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。 |
| <b>化学的安定性</b> | 通常状態で安定。                            |

|            |   |
|------------|---|
| 危険有害反応可能性  | 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。                            |
| 避けるべき条件    | 強酸化剤。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。                        |
| 混触危険物質     | 強酸化剤。   |
| 危険有害な分解生成物 | 分解後、本生成物は二酸化炭素、一酸化炭素、水やその他の燃焼性生成物を含んだ臭いの強い濃厚な煙を放出します。 |

## 11. 有害性情報

急性毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

| 成分      | 種     | 試験結果  |
|---------|-------|---|
| ロジンエステル |       |   |
| 亜慢性     |       |   |
| 経口      |       |   |
| NOAEL   | SDラット | 1757 mg/kg/日, 28 日間 繁殖性 ; 発生的 ; データは類似製品のもので。 ; OECD 421  |
| NOEL    | SDラット | 600 mg/kg/日, 90 日間 データは類似製品のもので。 ; OECD 408               |
| 急性      |       |   |
| 経口      |       |   |
| LD50    | SDラット | > 2000 mg/kg この用量では,死亡は発生していない ; データは類似製品のもので。 ; OECD 401 |
|         | ラット   | > 2000 mg/kg  |
| 経皮      |       |   |
| LD50    | SDラット | > 2000 mg/kg この用量では,死亡は発生していない ; データは類似製品のもので。 ; OECD 402 |
|         | ラット   | > 2000 mg/kg, 24 時間                                       |

皮膚腐食性/刺激性 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。

### 腐食性

ロジンエステル

刺激性腐食性 - 皮膚, 皮膚への刺激なし .; Data is for similar product.  
 結果: 未判定  
 種: ニューゼalandホワイトラビット  
 臓器: 皮膚  
 試験期間: 4 時間  
 観察期間: 72 時間  
 注記: OECD404

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

### 目に入った場合

ロジンエステル

刺激性腐食性 - 眼, 眼の刺激なし .; Data is for similar product.  
 結果: 未判定  
 種: ニューゼalandホワイトラビット  
 臓器: 眼  
 観察期間: 7 日間  
 注記: OECD 405

呼吸器感受性又は皮膚感受性

### 呼吸器感受性

呼吸器感受性物質でない。

### 皮膚感受性

この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

## 皮膚感作性

ロジンエステル

局所リンパ節試験 - 最低反応生成濃度, 皮膚に対する感作性は無い。

結果: 裃タイプ

種: マウス

臓器: 皮膚

注記: OECD 429

## 生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

### 変異原性

ロジンエステル

哺乳動物細胞によるインビトロでの遺伝子突然変異試験

結果: 裃タイプ

種: マウス

注記: OECD 476

生殖細胞変異原性: Ames 試験

結果: 裃タイプ

種: Salmonella typhimurium

注記: OECD 471

生殖細胞変異原性: 染色体異常

結果: 裃タイプ

種: ハムスター

臓器: 卵巣細胞

注記: OECD473

## 発がん性

IARC、ACGIH、NTPあるいはOSHAによれば、この製品は発がん物質とはみなされない。

## 生殖毒性

この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予測されない。

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分に該当しない。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分に該当しない。

## 誤えん有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

## 12. 環境影響情報

### 環境影響データ

| 成分      |      | 種                                | 試験結果  |
|---------|------|----------------------------------|---|
| ロジンエステル |      |                                  |   |
| 水生      |      |                                  |   |
| 甲殻類     | EC50 | ミジンコ                             | > 100 mg/l, 48 時間 OECD202                                       |
|         | NOEL | ミジンコ                             | 100 mg/l, 48 時間 OECD202   |
| 藻       | EL50 | 藻                                | > 1000 mg/l, 72 時間 データは類似製品のもので。 ; OECD 201                     |
|         | NOEL | 藻                                | 1000 mg/l, 72 時間 データは類似製品のもので。 ; OECD 201                       |
| 魚類      | LL50 | ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) | > 1000 mg/l, 96 時間 この用量では、死亡は発生していない ; データは類似製品のもので。 ; OECD 203 |
|         | NOEL | ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) | 1000 mg/l, 96 時間 データは類似製品のもので。 ; OECD 203                       |

## 生態毒性

この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

## 残留性・分解性

容易に分解しない。

## 生分解性

### パーセント分解（好気性生物分解）

ロジンエステル

0 % CO<sub>2</sub> 発生試験

結果: すぐには生分解しない。

種: 活性下水汚泥

試験期間: 28 D

## 生体蓄積性

### 生体内蓄積の可能性

#### オクタノール／水分配係数 log Kow

ロジンエステル

3.97, at 20°C

### 土壤中の移動性

データなし。

### オゾン層への有害性

データなし

### 他の有害影響

その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

### 汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

### 地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

### IATA

危険物には該当しない。

### IMDG

危険物には該当しない。

### MARPOL73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

データなし。

### 国内規制

国内輸送については15項の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

#### 通知対象物

該当せず。

#### 表示対象物

該当せず。

### 毒物及び劇物取締法

#### 特定毒物

該当せず。

#### 毒物

該当せず。

#### 劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 第一種特定化学物質

該当せず。

#### 第二種特定化学物質

該当せず。

**監視化学物質**

該当せず。

**優先評価化学物質**

該当せず。

**届出不要物質**

該当せず。

**2023年3月31日までの環境汚染物質排出移動登録に関する法律****特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)**

該当せず。

**第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)**

該当せず。

**第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)**

該当せず。

**2023年4月1日以降の環境汚染物質排出移動登録に関する法律****特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)**

該当せず。

**第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)**

該当せず。

**第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)**

該当せず。

**火薬類取締法**

該当せず。

**16. その他の情報****引用文献**

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示  
及び安全データシート (SDS)  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

KRATON CORPORATIONは、各顧客または本SDS（安全データ情報）の受取人がそれをよく調べ、必要に応じてまたは適宜、適切な専門家の意見を参照し、本SDSに含まれるデータおよび製品に関連付けられる危険を認識し、理解するよう勧めます。本書に記載の情報は、本書の日付時点で、信頼できる情報源から取得された、最新情報に基づいており、合理的な努力と誠意をもって作成されています。かかる情報は、一切の保証なしに作成されており、また執筆者、その雇用主、関係会社に何らの法的義務や責任を定めるものではありません。ここに提供される情報は、指針として作成されたものに過ぎず、その完全性は保証されません。この情報は、一切の個別の製品の特徴、性質、品質、または仕様を保証しません。

この情報は、出荷するよう指定された特定の製品にのみ関連しており、本書に明示的な定めがない限り、他の素材や製品と組み合わせて、または何らかのプロセスにおいて、かかる製品を使用した場合、この情報が有効性を失う可能性があります。本書で定めるいかなる規定も、既存の特許権に抵触するか、または既存の特許権により請求される製品の使用を推奨する、またはかかる製品の使用に対してライセンスを付与すると解釈されません。利用者は、製品の意図された使用がかかる特許を侵害しているかどうかを単独で最終的に判断するものとします。規制要件は、変更される可能性があります、またさまざまな地域間で異なる場合があります。ユーザーの活動がすべての現地、連邦および国際法規および現地の許可基準を遵守していることを確保するのはユーザーの責任です。

当社は、当社のために、および当社の関連会社を代表し、本書に記載された情報に何らかの形で関係する何らかの活動から生じた損害または傷害に対し、一切の責任を明示的に否定します。情報源の増加により、当社は、当社以外の情報源から取得されたSDSに対して責任を負わず、また負うことができません。別の情報源からSDSを取得した場合、またはお持ちのSDSが最新版かどうかかわからない場合、当社にご連絡いただき、最新版をお求めください。

\*KRATON, the KRATON logo, the "Green Super Drop" logo, 1101, ABIETA, AQUATAC, BiaXam, BI-THIN, CENTURY, CENWAX, CirKular+, ELEXAR, ELLAMERA, E-LEXAR, HiMA, IMSS, IPD, NEXAR, PER-SUST, PriMul, RAD-THICK, REFLECTAID, REvolution, SYLFAT, SYLVABIND, SYLVABLEND, SYLVACLEAR, SYLVACOTE, SYLVADERM, SYLVAFUEL, SYLVAGEL, SYLVAGUM, SYLVALITE, SYLVAMIN, SYLVAPINE, SYLVAPRINT, SYLVARES, SYLVAROAD, SYLVAROS, SYLVASOLV, SYLVATAC, SYLVATAL, SYLVATRAXX, TER-SET, UNICLEAR, UNIDYME, UNIFLEX, UNI-REZ, UNI-TAC, and ZONATAC は、Kraton Corporation、または1つまたは複数の国（ただしすべての国ではない）の子会社もしくは関連会社の商標または登録商標です。

©2016-2022 Kraton Corporation